

ふゆ まん きつ とく しゅう
冬を満喫!! イベント特集



きぼう

第130号
令和5年4月1日発行
旭川市春光台4条10丁目
障がい者支援施設
希望学園
障がい者支援施設
第二希望学園
TEL0166-51-0900
FAX0166-51-7016



かん れき
祝 還暦 おめでとうございます!

今回は、124号で少し書き記しました「歩くスキー」について綴ってみますのでお付き合いください。

希望学園・第二希望学園では、早くから施設の前後のスロープ等で「雪上運動会」と題して、訪問学級（昭和54年の養護学校義務化前には大町小学校や北星中学校に在籍をしていました）の教員の皆さんを交えて、ソリ滑りやミニスキー大会、雪像作りで冬を楽しんでいました。もちろん、温かい甘酒やホットミルクを用意して…。

学園では、ほどなくして「歩くスキー」を導入します。冬場の運動不足を補うために体力づくりがはじまり、当時の利用者さん全員が歩くスキーを所持し、雪の上を歩いていました。ついには冬場の体力増進が目的だったのが学園周辺にコースを造成し、園内歩くスキー大会へと発展していきます。利用者さんの技量に合わせてコース設定をして、上級者は、タイムレースで順位を競っていました。

雪とたわむれた後には、熱々の豚汁が待っていて、参加されたご家族と一緒にオニギリを頬張り無言で食べたものです。

そのころ旭川では、バーサスキー大会が開かれていて、いつしか「みんな参加しよう」との声が上がり、出場しました。いきなりの10kmの部にエントリー、スタートの号砲が鳴っても前に進みません。なんと、出場者が1万人超えです。最後尾に位置する私たちがスタートラインを通過したころには5kmに出場したクロスカントリーの小学生がゴールに飛び込んできます。

背中のリックフックには、調理員が朝早くから仕込んでくれた「おにぎり」を入れ、難関のコースに出ます。時にはスキーを外して、文字通りの「歩くスキー」です。下り坂では制御ができずにコースアウトする人も…。途中の昼食時には、つぶれて「どら焼き」のように自身の「胃」がみ出した「おにぎり」を頬張ります。10kmは本当に長く、時間が経過するごとに太陽が西に傾き、徐々に口数が減り、ついに無言となりました。足腰に疲れがたまり、転んでもなかなか起き上がれません。私たちのすぐ後ろには「最後尾」を示すスノーモービルが近づいてきて、追従しています。また、カラスの鳴き声まで私たちがあざ笑うように聞こえます。

希望学園・第二学園の理念

いかなる原因で心身に障がいを受けても、また、その障がいや能力の程度が、軽度であろうと重度であろうと、人としての価値は変わるものではない。

本園はこうした心身障がい者がその能力に応じ、合理的な配慮を受けた意思決定の下、あらゆる社会的活動に参加・参画すると共に、個々の特性を活かし、明るく・楽しく・希望にあふれ、人として生きる喜びを数多く感じる事が出来るような学園でありたい。

よって本園の理念は、下記のとおりとする。

- 一、社会的自立に向け、精神的な満足度の高い生活を提供する
- 一、豊かな経験から意思決定能力を育めるように努める
- 一、施設を利用する方々に尊敬の念を持って接する

上記の理念を達成するために

1. 「共生・共育・共創」
 - ・施設を利用する方々と共に過ごし、共に成長し合い、共に将来を創り上げていくことを目指す
2. 「和顔愛語（わげんあいご）」
 - ・穏やかな心と思いやりのある言葉で支援にあたる
3. 「和衷協同（わちゅうきょうどう）」
 - ・施設を利用する方々の幸せのために、職員同士が協力し合い、心を通い合わせた支援を提供する

この3つを心掛けて業務にあたることとする。

※「社会的自立」とは、人の手を借りることの有無によって自立が位置付けられるのではなく、どのような支援を受けていたとしても、自分の思いを実現することによって精神的な満足度の高い生活を送ることである。そのためには、障害者の権利に関する条約に述べられている「合理的に配慮」された必要な支援を、全ての人とその個人の生活の営みに合わせた形で受けることができるものとする。

※「意思決定」はどのような重い障がいがあろうとも、意思は必ずあるという考えからスタートするのであり、意思の無能力が法的に証明されない限り、意思決定に関する支援を専門的視点からの提供を受ける権利を有するものとする。

※「施設」は地域の一環であり、なんら保護・隔離を強いる場所ではない。施設入所サービスを受けている限りにおいては、施設を個人の生活拠点として位置づけ、尊厳ある社会生活を営む個人として尊重される。

苦情と要望受付一覧

苦情 0件
要望 1件

・他利用者さんとのトラブル
引き続き、皆様の貴重なご意見を受け付けております。

退職職員







熊井 彩香 矢野 希峰 小松 貴弘 工藤 久美子 石川 美恵子

皆さんお疲れさまでした！

初詣
はつめぐり

今年も神社での参拝の他、施設内でも行える様に「希望神社」を設営しました。



書き初め
かきぞめ

皆さん真剣な表情です。



宝引き
たからひき

何が出るかな?



普段の写真
ふだん しゃしん



節分
せつぶん

年男・年女の方を中心に、今年も健やかに過ごせる様願いを込めて豆まきを行いました。



きぼう雪あかり2023

「旭川冬まつり」の車窓見学も行いつつ、毎年恒例となった雪あかりも引き続き開催しました！

そり滑り

滑るスタイルは一人ひとり違います



雪玉作り

上手にできました！

イルミネーション

車内と車窓からの景色、2つのイルミネーションが楽しめます！



中華まんて暖まりました



お知らせ

令和5年1月23日、門脇英幸さんが逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



編集後記

令和4年度は2名の方が還暦を迎えられました。おめでとうございます！本園ではこれからも続々と還暦を迎えられる方が増えていくと思いますが、今後もしも心身健やかに、そして若々しくパワフルに楽しく過ごしていただけたらと思います。充実した毎日が送れるお手伝いが出来る様に、職員一同引き続き努めていきたいと思っております。